

等張リンゲル糖-V注射液

【本質の説明又は製造方法】

牛の補液療法にあたっては、患畜の電解質・酸塩基平衡状態の正確な把握が困難であり、また往診の能率化などの点から急速な薬剤投与が行われることが多くみられます。

そこで補液処置にあたっては、安全性の高い補液剤の投与が推奨されています。

本剤は、リンゲル液の1/2濃度の電解質溶液に5%ブドウ糖液を同量混合し、等張に調整した注射液です。

本剤を急速に投与した場合、リンゲル液、5%ブドウ糖液に比べ、一般臨床所見の変化はもとより、投与直後の血糖上昇に伴う、尿糖の排泄及び投与後期におけるナトリウム性利尿も軽度であることから、補液の開始液として適用性が高い製品と考えられます。

【成分及び分量】 本品100mL中

成分	分量
塩化ナトリウム	430mg
塩化カルシウム水和物	16.5mg
塩化カリウム	15mg
ブドウ糖	2.5g

【効能又は効果】

牛：細胞外液の補給及び補正

【用法及び用量】

通常、体重1kg当たり下記量を1回量とし静脈内に注射する。

成牛：1～10mL 子牛：5～20mL

なお、脱水が重度の場合又は点滴する場合は体重1kg当たり下記量を投与する。

成牛：10～100mL 子牛：20～100mL

【使用上の注意】

「基本的事項」

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

・注射器具は滅菌されたものを使用すること。

・小児の手の届かないところに保管すること。

・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛に関する注意)

・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

・腎不全、心不全、高張性脱水症及び閉塞性尿路疾患により尿量が減少している場合は、獣医師に相談し使用の是非を判断すること。

(取扱い上の注意)

・寒冷時に大量に静脈内投与する場合には、本剤を体温程度に温めること。

・リン酸イオン及び炭酸イオンを含む注射剤との混合で沈殿を生ずることがあるので、これらとの配合は避けること。

・オキシテトラサイクリン注射液との混合で白濁することがあるので、配合は避けること。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 500mLプラスチックバイアル
1Lプラスチックバイアル

【製品情報のお問い合わせ】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元

 **日本全薬工業株式会社**
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。